

新着図書

図書館HPから
すべての新刊を
チェックできます

①図書館HPをひらく

② **新着一覧** をクリック



③条件を

「ティーンズ」

に絞る



ムーミンをめぐる100の秘密

アマダ・リー／文 トーベ・ヤンソン／絵 ラルス・ヤンソン／絵
徳間書店 2026.4 (949/17)

世界中で愛されている北欧生まれの「ムーミントロール」。ユニークなキャラクターが織りなす不思議な世界に魅了された人も多いのではないのでしょうか。本作では「ムーミンパパの万年筆」「スナフキンのテント」といった、ムーミン谷に登場する100の「もの」を取り上げ、そこから見えてくる物語の魅力を教えてください。挿絵もたっぷり入っており、ムーミンが好きな人はもちろん、作品に触れたことがない人も楽しめる内容です。

法律のしごとはおもしろい!

石田京子／著 濱中淳子／著 岩波書店 2026.4 (K327)

法律の仕事と聞くと何を想像しますか？弁護士、裁判官、検察官…難しい、堅い、特別な仕事と考えてしまうかもしれません。しかし今回ご紹介する本では、仕事の魅力や法律家の道徳、向いている人などがわかりやすく解説され、実はおもしろい仕事だということが伝わってきます。もしかしたら私は法律家に向いているのかも？と思ったら、進路の中のひとつとして、法律家も考えてみてはいかがでしょうか。



怖い話の世界へ

暑い夏を乗り切る手段に

ゾツとする話はいかがですか



連載コラム
本好きさんになろう!

恐怖を感じたり、ゾツとする瞬間、体感的に周りの空気が涼しくなる感じがしませんか。

年々猛暑日が増える日本の夏、暑さをしのぐ納涼のひとつとして怖い話は鉄板です。今回は近現代に生まれた怖い本を集めました。

一人で恐怖を感じるのもよし、誰かと怖さを分かち合うのもよし、怖い話でどのくらい涼しく感じるか試してみるのもよしです。

熱中症に気をつけながら、ゾツとする読書を楽しんでください。

「ティーンズ・ライブラ」が、皆さんの読書のきっかけとなれば幸いです。(KT)

次号
(2026年秋号)
9月1日
発行予定です



日めくり怪談

吉田悠軌／著 集英社 2019.7 (F/31)

タイトルの通り、日めくりカレンダーのように、この夏毎日小さな恐怖をあなたにお届けします。一つのお話が、日めくりカレンダーにおさまる分量の小説集で、ショート動画を見るくらいの感覚で物語を楽しめるので、ホラーが苦手な人にもおすすめです！



ホロヴィッツホラー

アンソニー・ホロヴィッツ／作 田中奈津子／訳 講談社 2022.10 (933.7/7)

「ホロヴィッツ」と言えば、ミステリー好きは思わずニヤリ。著者のアンソニー・ホロヴィッツはイギリスのミステリーの名手です。「名探偵ポワロ」や「刑事フォイル」など、人気テレビシリーズの脚本を手がけました。そのホロヴィッツがティーンを主人公に書いた短編ホラー集と聞くだけで、期待が高まります。少し時代がかった小道具や設定が怖さを引き立たせるエッセンスです。

日本現代怪異事典

朝里樹／著 笠間書院 2018.1 (388.1/7)

戦後から今日に至るまでの日本を舞台に、全国各地で語られる怪異譚を収集した事典です。学校や地元の噂、書籍やテレビ、インターネットと幅広い範囲で怪異を収集し、有名な怪談からマイナーな噂まで多種多様な話を掲載。索引も充実しており、類似した話や出没場所、使用武器や都道府県別などから探すことも可能です。関連本として『日本現代怪異事典副読本』『日本現代怪異事典続』もあるので、併せて読むと楽しさが倍増します。



幽霊塔

江戸川乱歩／著 宮崎駿／カラー口絵 岩波書店 2015.6 (F/17)

乱歩×宮崎駿の豪華コラボレーションで、幽霊塔と呼ばれる時計塔の秘密を怖くて美しく描いています。乱歩の作品は数多くありますが、多すぎてどの本から読み始めるか迷ったら是非手に取ってみてください。宮崎さんの視点で語られるカラー口絵が心をなごませてくれますよ。怪しい人物が次々と登場する中で、恐怖と隣り合わせの主人公が自分を信じて突き進む姿にも注目です。

幻想と怪奇|ヴィクトリアン・ワンダーランド

牧原勝志／編集 新紀元社 2020.3 (908.3/カ/1)

150年前の英国を震え上がらせた恐怖が現代も変わらず私たちの心を凍りつかせます。伝説の専門誌を復刻した本書『幻想と怪奇』は、19世紀の文豪と現代の人気作家が時を超えて競演する、いわば怪奇の博覧会。「人狼伝説」(2巻)、「魔女の祝祭」(8巻)、「ウィアード・テールズ」(7巻)などテーマもいろいろです。レトロであり新しい、そんな普通の怖さを少し背伸びしてのぞいてみませんか。どこから開いても本格的な怪異があなたを待っています。



怖いへんないきものの絵

中野京子／著 早川いくを／著 幻冬舎 2018.12 (723/4)

人気シリーズ『怖い絵』と『へんないきもの』の作者がコラボ。昔の西洋絵画に登場する奇妙な生き物に焦点をあて、縦横無尽に語り合います。ヴィーナスやマリアのそばに描かれる不穏で不気味な生き物たち。なぜそこに？画家の意図は？気になる名画の謎を解き明かします。ユーモラスな語り口に、古典的名画についてこんなに自由に語っていいんだ！という発見もあり、楽しく読める一冊です。

悪い本 怪談えほん

宮部みゆき／作 吉田尚令／絵 東雅夫／編 岩崎書店 2011.10 (EL/7)

この「怪談えほん」シリーズは、京極夏彦や宮部みゆきなどのホラーの名手と、巧みな挿絵が生み出す“本気の怪談”です。ただ怖いだけではなく、読んだ後、心の奥に残る不気味さや、それに相反する美しさが魅力です。絵本だと侮るなかれ、ページをめくるたびにスラッと飛び込んでくるシンプルな文章と挿絵は、一瞬にして背筋を凍らせます。



夢詣

雨宮醉／[著] KADOKAWA 2025.10 (F/7)

その夢を見たら死ぬ。そんな「死に至る夢」その夢は「感染」し、主人公たちもその夢に巻き込まれていきます。夢の中の死までのカウントダウンが始まるとより一層恐怖が高まっていきます。呪いを解く手がかりは死んだ人達が残したメモと過去の出来事。主人公たちに待ち受ける運命に背筋が凍ること間違いなしです。

怖い話の世界へ

暑い夏を乗り切る手段にゾットする話はいかがですか

本の予約ができるおすすめブックリスト



紹介作品 (50音順)

- 幻想と怪奇1
- 怖いへんないきものの絵
- 日本現代怪異事典
- 日めくり怪談
- 法律のしごとはおもしろい!
- ホロヴィッツホラー
- ムーミンをめぐる100の秘密
- 幽霊塔
- 夢詣
- 悪い本

2026

夏